



# 秋田県立 横手支援学校教育プラン

## I 学校の現状と課題・学校を取り巻く将来の状況の予測

### 【立地条件】

◎旧横手市内にあり、近くには住宅地や商店等があり、秋田ふるさと村にも近い。秋田自動車道横手ICにも近く、バス等の公共交通機関も活用しやすい。

### 【児童生徒】

◎平成28年度は、小学部22名、中学部22名、高等部50名、計94名の児童生徒が在籍している。大部分が横手市周辺から通学している。また、市内の障害児支援施設からは4名が通学しており、3名の児童生徒が在宅訪問教育を受けている。

◎将来的には、小学部は重度や肢体不自由等の障害を併せ有する児童の割合が増加する。また、中・高等部は、特別支援学級や通常の学級から進学する生徒が多く、増加傾向になるとともに、発達障害など、障害の多様化傾向になることが予想される。

### 【施設設備】

◎小中学部校舎は昭和54年に完成し築39年目を、また、高等部校舎は平成8年に完成し築20年目を迎える。小中学部校舎は施設設備が老朽化傾向にあり、高等部校舎は生徒数の増加に伴い、多目的スペースを教室に転用して使用している。

◎各校舎が離れていて移動面や日常的な交流面等で制約があるが、道路の歩き方や挨拶等の指導の機会として、学習に生かすようにしている。小中学部校舎は将来的には改築が必要になってくるが、高等部校舎に隣接することで移動面等の制約を解消できるようにしたい。

### 【センター的機能】

◎幼稚園・保育園や小・中学校、高等学校からの「教育支援」や「教育相談」の依頼が増加するなど、県南地域における更なる特別支援教育の充実が求められている。県南地区の中心校として、それに応えていくために、「医療をはじめとする関係機関との連携」や「発達障害等の職員研修の充実」が必要となってくる。

## II 目指す方向性・学校像や幼児児童生徒の姿

### 【求められる専門的な教育を充実し、安全・安心で、笑顔あふれる学校】

- ・児童生徒の実態や教育的ニーズに応じた指導を充実する。
- ・児童生徒が安全に学習できる環境づくり、保護者が安心して任せられる環境づくりに努める。

### 【地域との関わりを生かした学習を推進し、地域に理解され、信頼される学校】

- ・交流及び共同学習や居住地校交流を推進する。
- ・地域資源を積極的に活用し、地域との関わりを深める学習を推進する。

### 【県南地区の特別支援教育を推進する学校】

- ・県南地区における特別支援教育を推進するために、センター的機能の充実を図る。
- ・地域への理解をより促進するために、学校の情報を積極的に公開する。

### Ⅲ 具体的な目標・取組・推進指標

#### 【安全・安心で、笑顔あふれる学校づくりのために】

- 1 児童生徒の多様な実態と教育的ニーズに応じた教育課程を編成する。
  - ・一人一人の学びを保障する教育課程を検討し、教育課程の「編成→実施→評価→改善」の体制の下、運用する。
- 2 児童生徒理解や授業づくりに関する研修や研究を通して、多様な実態に対応する学習指導の充実を図る。
  - ・日々の授業づくりや授業研究会での自己評価、他者評価を踏まえた授業改善
  - ・教科・領域を合わせた指導のねらい及び指導内容の共通理解と実践
  - ・外部専門家と連携した肢体不自由等に対応する自立活動の指導の充実
- 3 望ましい人格の発達を促す生徒指導の充実を図る。
  - ・保護者や関係機関と連携した生徒指導の推進
  - ・縦割りグループを生かした集団活動
  - ・迅速な情報共有と関係機関と連携した対応
- 4 一人一人の自立と社会参加に向けた進路指導の充実を図る。
  - ・小・中・高の各学部段階における進路指導の充実と組織的な支援の実践
  - ・「個別の支援計画」を活用した移行支援の充実  
〔推進指標：希望する進路の達成率100%〕
  - ・関係機関と連携した新しい実習先や職域等の開拓・開発
  - ・保護者や関係機関と連携した卒業後支援  
〔推進指標：卒業後3年間の職場定着率95%以上を維持〕
- 5 安全・安心な学校づくりと安全教育を推進する。
  - ・学校安全計画や危機管理マニュアル等の見直し
  - ・日常的な防災対策と防災・安全教育の推進
  - ・学習や医療的ケアを実施する上での、日常的な環境整備と点検
  - ・校舎の改築に向けた、ソフト・ハード両面の検討

#### 【地域に理解され、信頼される学校づくりのために】

- 1 交流及び共同学習を推進する。
  - ・学校間交流の充実と居住地校交流の促進
  - ・地域等との交流の推進
- 2 地域資源を活用した学習活動を充実させる。
  - ・学校支援地域本部事業、人材ボランティア事業等を活用した学習の推進
  - ・地域行事への参加や地域資源等を生かした学習の推進

#### 【県南地区の特別支援教育を推進する学校づくりのために】

- 1 県南地区の中心校として、センター的機能の更なる充実を図る。
  - ・平鹿総合病院との連携による、児童生徒への総合的な支援の充実
  - ・幼・保、小・中・高等学校への相談・支援の充実
  - ・関係機関との連携したセミナーや巡回相談、就学指導等への協力
  - ・教育、医療、福祉、労働機関など、関係する外部機関との連携強化
  - ・発達障害等へ対応するための職員研修の充実
- 2 学校の理解推進を図るために広報活動の充実を図る。
  - ・ホームページの充実による、速やかな情報発信
  - ・学校展やぎゃらりー風の翼（ミニ学校展）等を通じた学校紹介活動の推進